

※別添写しについては添付を省略しています。

別添

消表対第1558号

令和4年12月19日

マルキユー株式会社

代表取締役 岡田 信義 殿

消費者庁長官 新井 ゆたか
(公印省略)

不当景品類及び不当表示防止法第7条第1項の規定に基づく措置命令

貴社は、貴社が供給する別表1「対象商品」欄記載の各疑似餌（以下これらを併せて「本件31商品」という。）の取引について、それぞれ、不当景品類及び不当表示防止法（昭和37年法律第134号。以下「景品表示法」という。）第5条の規定により禁止されている同条第1号に該当する不当な表示を行っている又は行っていたので、同法第7条第1項の規定に基づき、次のとおり命令する。

1 命令の内容

- (1) 貴社は、本件31商品のうち別表2「対象商品」欄記載の各疑似餌（以下これらを併せて「本件30商品」という。）の取引に関し、表示の裏付けとなる合理的な根拠をあらかじめ有することなく行っている次に掲げる表示をしている行為を速やかに取りやめなければならない。

本件30商品を一般消費者に販売するに当たり、例えば、「パワーイソメ（中）」と称する疑似餌について、遅くとも平成28年1月1日以降、商品パッケージにおいて、「生分解 生分解性くわせエサ」及び「本品は水中の微生物によって分解される生分解性樹脂を使用しており、保存液も含め全て魚や人体に無害です。」と表示するなど、同表「対象商品」欄記載の商品について、同表「表示期間」欄記載の期間に、同表「表示媒体・表示箇所」欄記載の表示媒体・表示箇所において、同表「表示内容」欄記載のとおり表示することにより、あたかも、本件30商品は、使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性等の同表「生分解性」欄記載のとおりの生分解性を有するかのよう示す表示

- (2) 貴社は、貴社が一般消費者に販売する本件31商品に係る表示に関して、次に掲げる事項を速やかに一般消費者に周知徹底しなければならない。この周知徹底の方法については、あらかじめ、消費者庁長官の承認を受けなければならない。

ア 貴社は、本件31商品を一般消費者に販売するに当たり、例えば、「パワーイソメ（中）」と称する疑似餌について、遅くとも平成28年1月1日以降、商品パッケー

ジにおいて、「生分解 生分解性くわせエサ」及び「本品は水中の微生物によって分解される生分解性樹脂を使用しており、保存液も含め全て魚や人体に無害です。」と表示するなど、別表3「対象商品」欄記載の商品について、同表「表示期間」欄記載の期間に、同表「表示媒体・表示箇所」欄記載の表示媒体・表示箇所において、同表「表示内容」欄記載のとおり表示することにより、あたかも、本件31商品は、使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性等の同表「生分解性」欄記載のと通りの生分解性を有するかのよう示す表示をしていたこと。

イ 前記アの表示は、それぞれ、本件31商品の内容について、一般消費者に対し、実際のものよりも著しく優良であると示すものであり、景品表示法に違反するものであること。

- (3) 貴社は、今後、本件31商品又はこれらと同種の商品の取引に関し、表示の裏付けとなる合理的な根拠をあらかじめ有することなく、前記(2)アの表示と同様の表示が行われることを防止するために必要な措置を講じ、これを貴社の役員及び従業員に周知徹底しなければならない。
- (4) 貴社は、今後、本件31商品又はこれらと同種の商品の取引に関し、表示の裏付けとなる合理的な根拠をあらかじめ有することなく、前記(2)アの表示と同様の表示をしてはならない。
- (5) 貴社は、前記(1)に基づいてとった措置、前記(2)に基づいて行った周知徹底及び前記(3)に基づいてとった措置について、速やかに文書をもって消費者庁長官に報告しなければならない。

2 事実

- (1) マルキュー株式会社（以下「マルキュー」という。）は、埼玉県桶川市赤堀二丁目4番地1に本店を置き、釣餌、釣具等の製造及び販売等を営む事業者である。
- (2) マルキューは、本件31商品を小売業者を通じて一般消費者に販売している。
- (3) マルキューは、本件31商品に係る別表3「表示媒体・表示箇所」欄記載の表示媒体の表示内容を自ら決定している。
- (4)ア マルキューは、本件31商品を一般消費者に販売するに当たり、例えば、「パワーイソメ（中）」と称する疑似餌について、遅くとも平成28年1月1日以降、商品パッケージにおいて、「生分解 生分解性くわせエサ」及び「本品は水中の微生物によって分解される生分解性樹脂を使用しており、保存液も含め全て魚や人体に無害です。」と表示するなど、別表3「対象商品」欄記載の商品について、同表「表示期間」欄記載の期間に、同表「表示媒体・表示箇所」欄記載の表示媒体・表示箇所において、同表「表示内容」欄記載のとおり表示することにより、あたかも、本件31商品は、使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性等の同

表「生分解性」欄記載のとおり生分解性を有するかのように示す表示をしている又は表示をしていた。

イ 消費者庁長官は、前記アの表示について、それぞれ、景品表示法第5条第1号に該当する表示か否かを判断するため、同法第7条第2項の規定に基づき、マルキユーに対し、期間を定めて、当該表示の裏付けとなる合理的な根拠を示す資料の提出を求めたところ、マルキユーは、当該期間内に表示に係る裏付けとする資料を提出したが、当該資料はいずれも、当該表示の裏付けとなる合理的な根拠を示すものであるとは認められないものであった。

3 法令の適用

前記事実によれば、マルキユーが自己の供給する本件31商品の取引に関し行っている又は行っていた表示は、それぞれ、景品表示法第7条第2項の規定により、同法第5条第1号に規定する、本件31商品の内容について、一般消費者に対し、実際のものよりも著しく優良であると示すことにより、不当に顧客を誘引し、一般消費者による自主的かつ合理的な選択を阻害するおそれがあると認められる表示とみなされるものであって、かかる表示をしている又は表示をしていた行為は、それぞれ、同条の規定に違反するものである。

4 法律に基づく教示

(1) 行政不服審査法（平成26年法律第68号）第82条第1項の規定に基づく教示

この処分について不服がある場合には、行政不服審査法第2条、第4条及び第18条第1項の規定に基づき、正当な理由があるときを除き、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に、書面により消費者庁長官に対し審査請求をすることができ。

（注）行政不服審査法第18条第2項の規定により、正当な理由があるときを除き、処分があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内であっても、処分の日の翌日から起算して1年を経過したときは、審査請求をすることができなくなる。

(2) 行政事件訴訟法（昭和37年法律第139号）第46条第1項の規定に基づく教示

訴訟により、この処分の取消しを求める場合には、行政事件訴訟法第11条第1項及び第14条第1項の規定に基づき、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、国（代表者法務大臣）を被告として、この処分の取消しの訴えを提起することができる。

（注1）行政事件訴訟法第14条第2項の規定により、正当な理由があるときを除き、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、この処分の日の翌日から起算して1年を経過すると、この処分の取消しの訴え

を提起することができなくなる。

(注2) 行政事件訴訟法第14条第3項の規定により、正当な理由があるときを除き、審査請求をして裁決があった場合には、この処分取消しの訴えは、その裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に提起することができる。ただし、正当な理由があるときを除き、その裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、その裁決の日の翌日から起算して1年を経過すると、この処分取消しの訴えを提起することができなくなる。

別表 1

対象商品
「パワーイソメ（中）」と称する疑似餌
「パワーイソメ（太）」と称する疑似餌
「パワーイソメ（極太）」と称する疑似餌
「パワーイソメ ソフト（中）」と称する疑似餌
「パワーミニイソメ（中）」と称する疑似餌
「パワーミニイソメ（太）」と称する疑似餌
「パワーミニイソメ（極太）」と称する疑似餌
「パワークラブ（M）」と称する疑似餌
「パワークラブ（L）」と称する疑似餌
「ハイパー紅雪」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア バグアンツ 3. 3 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア バグアンツ 2 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア ミルフル 3. 3 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア スイムシュリンプ 4 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア リングマックス 3. 8 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア リングマックス 3 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア 活アジコムシ 1. 7 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア 活アジコムシ 1. 7 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア 活アジストレート 3. 2 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア 活アジストレート 3. 2 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア 活アジストレート 2. 3 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア 活アジストレート 2. 3 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア 活メバルミノー 1. 6 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア 活メバル S T グラブ 2 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア 活メバル S T グラブ 2 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア 活メバルシラス 2 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア ロッククロー 2. 5 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア スーパーどじょう S」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア スーパーどじょう M」と称する疑似餌
「熟成タイラバアクア クワセカーリースリム（増量）」と称する疑似餌
「熟成タイラバアクア クワセフラップスリム（増量）」と称する疑似餌

別表 2

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
「パワーイソメ（中）」と称する疑似餌	遅くとも平成28年1月1日以降	商品パッケージ（別添写し1）	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解 生分解性くわせエサ」 ・「本品は水中の微生物によって分解される生分解性樹脂を使用しており、保存液も含め全て魚や人体に無害です。」 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
「パワーイソメ（太）」と称する疑似餌	遅くとも平成28年1月1日以降	商品パッケージ（別添写し2）		使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
「パワーイソメ（極太）」と称する疑似餌	遅くとも平成28年1月1日以降	商品パッケージ（別添写し3）		使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
「パワーイソメ（中）」、「パワーイソメ（太）」及び「パワーイソメ（極太）」と称する各疑似餌	遅くとも令和4年3月5日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの「パワーイソメ徹底分析」と称するウェブページ（別添写し4）	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解性だから地球にやさしい！」及び「ときに、根掛かりや不注意によって、エサを海中に残してしまうこともありますが、生分解性素材で作られている『パワーイソメ』ならご安心を。微生物の働きによって、水中で二酸化炭素と水に分解されます。また、魚が飲み込んでしまっても、スピーディーに排泄されるため、自然に大きなダメージを与えることなく釣りが楽しめます。」 ・「イソメにせまる釣れっぷりの生分解性くわせエサ。」及び「食い、見た目ともにイソメ並みで、扱いやすさはイソメ以上の生分解性くわせエサ。」 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって二酸化炭素と水に分解される生分解性
	遅くとも令和4年4月26日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの製品情報のウェブページ		

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
		(別添写し5)		
「パワーイソメ(中)」、「パワーイソメ(太)」、「パワーイソメ(極太)」、「パワーイソメソフト(中)」、「パワーミニイソメ(中)」、「パワーミニイソメ(太)」及び「パワーミニイソメ(極太)」と称する各疑似餌	遅くとも令和3年3月20日以降	「いろいろ釣れちゃう!! パワーイソメシリーズ 魚種別おすすめサイズ一覧」と称する販促ツール (別添写し6)	・「生分解 生分解性くわせエサ」及び「『パワーイソメ』は全て水中で二酸化炭素と水に分解します。大切な自然にダメージを与えません。」	使用後に水中に残されたままでも、水中で二酸化炭素と水に分解される生分解性
「パワーイソメ(中)」、「パワーイソメソフト(中)」、「パワーミニイソメ(中)」及び「パワーク	遅くとも令和3年3月20日以降	「釣果実証 見た目も食いも本格志向」と称する販促ツール (別添写し7)	・「生分解 生分解性くわせエサ」及び「『パワーイソメ』は全て水中で二酸化炭素と水に分解します。大切な自然にダメージを与えません。」	使用後に水中に残されたままでも、水中で二酸化炭素と水に分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
ラブ（L）」と称する各疑似餌				
「パワーイソメ ソフト（中）」と称する疑似餌	遅くとも平成29年1月1日以降	商品パッケージ（別添写し8）	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解 生分解性くわせエサ（疑似餌）」 ・「本品は水中の微生物によって分解される生分解性樹脂を使用しており、保存液も含め全て魚や人体に無害です。」 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
	遅くとも令和4年3月5日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの「パワーイソメ徹底分析」と称するウェブページ（別添写し4）	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解性だから地球にやさしい！」及び「ときに、根掛かりや不注意によって、エサを海中に残してしまうこともあります。生分解性素材で作られている『パワーイソメ』ならご安心を。微生物の働きによって、水中で二酸化炭素と水に分解されます。また、魚が飲み込んでしまっても、スピーディーに排泄されるため、自然に大きなダメージを与えることなく釣りが楽しめます。」 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって二酸化炭素と水に分解される生分解性
	遅くとも令和4年3月5日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの製品情報のウェブページ（別添写し9）	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解性くわせエサ」 	
「パワーミニイソメ（中）」と称する疑似餌	令和元年7月11日以降	商品パッケージ（別添写し10）	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解 生分解性くわせエサ（疑似餌）」 ・「本品は水中の微生物によって分解される生分解性樹脂を使用しており、保存液も含め全て魚や人体に無害です。」 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
「パワーミニイソメ(太)」と称する疑似餌	令和元年7月11日以降	商品パッケージ(別添写し11)		使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
「パワーミニイソメ(極太)」と称する疑似餌	令和元年7月11日以降	商品パッケージ(別添写し12)		使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
「パワーミニイソメ(中)」、「パワーミニイソメ(太)」及び「パワーミニイソメ(極太)」と称する各疑似餌	遅くとも令和4年3月5日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイト「パワーイソメ徹底分析」と称するウェブページ(別添写し4)	・「生分解性だから地球にやさしい!」及び「ときに、根掛かりや不注意によって、エサを海中に残してしまうこともあります。生分解性素材で作られている『パワーイソメ』ならご安心を。微生物の働きによって、水中で二酸化炭素と水に分解されます。また、魚が飲み込んでしまっても、スピーディーに排泄されるため、自然に大きなダメージを与えることなく釣りが楽しめます。」	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって二酸化炭素と水に分解される生分解性
	遅くとも令和4年3月5日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの製品情報のウェブページ(別添写し13)	・「生分解性くわせエサ」	
「パワークラブ(M)」及び「パワークラブ	平成28年3月10日以降	商品パッケージ(別添写し14)	・「生分解 生分解性くわせエサ(疑似餌)」 ・「本品は水中の微生物によって分解される生分解性樹脂を使用しており、保存液も含め全て魚や人体に無害です。」	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
(L)」と称する各疑似餌	遅くとも令和4年3月5日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの「パワーイソメ徹底分析」と称するウェブページ (別添写し4)	・「生分解性だから地球にやさしい!」及び「ときに、根掛かりや不注意によって、エサを海中に残してしまうこともあります。生分解性素材で作られている『パワーイソメ』ならご安心を。微生物の働きによって、水中で二酸化炭素と水に分解されます。また、魚が飲み込んでしまっても、スピーディーに排泄されるため、自然に大きなダメージを与えることなく釣りが楽しめます。」	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって二酸化炭素と水に分解される生分解性
	遅くとも令和4年3月5日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの製品情報のウェブページ (別添写し15)	・「生分解性くわせエサ」	
「ハイパー紅雪」と称する疑似餌	令和2年10月1日以降	商品パッケージ (別添写し16)	・「生分解 生分解性くわせエサ(疑似餌)」 ・「本品は水中の微生物によって分解される生分解性素材を使用しております。」	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
	遅くとも令和4年4月26日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの製品情報のウェブページ (別添写し17)	・「生分解性素材を原材料として、人工エサならではの使い勝手の良さと、ワカサギの好む成分などを徹底追求。」 ・「本品は水中の微生物によって分解される生分解性素材を使用しております。」	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
「エコギア 熟成アクアバグアンツ 3.3イン	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し18)	・「Biodegradable Material」 ・「環境に配慮した製品です Environmentally Friendly Products」	使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
チ」と称する疑似餌			<ul style="list-style-type: none"> ・「環境配慮型の生分解素材！ Environmentally friendly, biodegradable material！」 ・「『エコギア熟成アクア』はより生エサに近づいた、環境にやさしい生分解性ソフトプラスチックルアー。」 ・「生分解」 	
「エコギア熟成アクアバグアンツ2インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ（別添写し19）		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア熟成アクアミルフル3.3インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ（別添写し20）		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア熟成アクアスィムシュリンプ4インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ（別添写し21）		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア熟成アクアリングマックス3.8インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ（別添写し22）		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
「エコギア 熟成アクアリングマックス3インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し23)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクア活アジコムシ1.7インチ(大盛)」と称する疑似餌	令和2年11月11日以降	商品パッケージ (別添写し24)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクア活アジストレート3.2インチ(大盛)」と称する疑似餌	令和3年10月5日以降	商品パッケージ (別添写し25)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクア活アジストレート3.2インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し26)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
「エコギア 熟成アクア 活アシスト レート2. 3 インチ (大盛)」と 称する疑似 餌	遅くとも令和 3年1月1日 以降	商品パッケージ (別添写し27)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される 生分解性
「エコギア 熟成アクア 活メバルミ ノー1. 6 インチ (大 盛)」と称す る疑似餌	遅くとも令和 3年1月1日 以降	商品パッケージ (別添写し28)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される 生分解性
「エコギア 熟成アクア 活メバルS T グラブ2 インチ」と 称する疑似 餌	遅くとも令和 3年1月1日 以降	商品パッケージ (別添写し29)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される 生分解性
「エコギア 熟成アクア 活メバルS T グラブ2 インチ (大 盛)」と称す る疑似餌	遅くとも令和 3年1月1日 以降	商品パッケージ (別添写し30)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される 生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
「エコギア 熟成アクア 活メバルシラス2インチ(大盛)」と称する疑似餌	令和3年11月19日以降	商品パッケージ(別添写し31)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクア ロッククロー2.5インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ(別添写し32)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクア スーパードジョウS」と称する疑似餌	遅くとも令和3年4月1日以降	商品パッケージ(別添写し33)	<ul style="list-style-type: none"> ・「Biodegradable Material」 ・「環境に配慮した製品です Environmentally Friendly Products」 ・「生分解」 	使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクア スーパードジョウM」と称する疑似餌	遅くとも令和3年4月1日以降	商品パッケージ(別添写し34)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「熟成タイラバアクア クワセカーリースリム	遅くとも令和4年5月1日以降	商品パッケージ(別添写し35)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
(増量)」と称する疑似餌				
「熟成タイラバアクアクワセフラップスリム(増量)」と称する疑似餌	遅くとも令和4年5月1日以降	商品パッケージ(別添写し36)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
別表4「対象商品」欄記載の各疑似餌	遅くとも令和4年2月16日以降	「Design for Fisherman」と称する自社ウェブサイトの「ECOGEAR AQUA」と称するウェブページ(別添写し37)	<ul style="list-style-type: none"> ・「Q『ECGEAR AQUA』は何で出来ていますか?」及び「A『ECOGEAR AQUA』および『ECOGEAR AQUA KATSU SERIES』は生分解性の水溶性ポリマー(water-soluble polymers)で作られていて、環境に対して負荷の少ない素材を吟味しています。」 ・「Q『ECOGEAR AQUA』はどの様に分解しますか?」及び「Aまずはじめに、味成分(主にamino acid)や添加材が水中に溶出します。溶出した成分は安全性・分解性が高く、環境に対して全く害はありません。分解の過程は場所や条件によってスピードは異なるものの、自然環境(土壌や淡水・海水)中の微生物(バクテリア)によってゆっくりと、確実に分解されていき、最終的には安全な水と二酸化炭素になります。(下記 分解過程、淡水・海水中における実験データ参照)」 ・「『ECOGEAR AQUA』分解過程」との記載と共に、物が崩壊していく様子を示す画像、「水中に残る▶成分の溶出▶微生物による分解 ➡CO₂ ➡H₂O」、「1. 水中に残る」、「2. 成分の溶出。味成分(主にamino acid)や添加材が水中に溶出します。溶出した成分は安全性・分解性が高く、環境に対して全く害はありません。」及び「3. 微生物による分解。自然環境中(土壌や淡水・海水)の微生物(バクテリア)に 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって二酸化炭素と水に分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
			<p>よって徐々に分解されていき、最終的には安全な水と二酸化炭素になります。」との記載</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤い物の画像及び「分解実験開始0ヶ月」との記載と共に、「重量変化」、「神奈川県 芦ノ湖」、「埼玉県 羽生吉沼」及び「静岡県 下田」と記載のある折れ線グラフ、「➡『エコギア アクア』分解実験開始から47ヶ月経過した海水中（下田）で完全に分解。61ヶ月経過した平地の沼（羽生吉沼）でも完全分解し、クリアレイク（芦ノ湖）では17.5%まで重量が減少しました。」との記載、崩壊した赤い物の画像及び「神奈川県 芦ノ湖 108ヶ月」との記載、「完全分解」及び「埼玉県 羽生吉沼 61ヶ月」との記載並びに「完全分解」及び「静岡県 下田 47ヶ月」との記載 	
	遅くとも令和4年4月26日以降	「Design for Fisherman」と称する自社ウェブサイトのトップページ (別添写し38)	<ul style="list-style-type: none"> 「環境配慮型の生分解素材！」 	
	遅くとも令和4年4月26日以降	「Design for Fisherman」と称する自社ウェブサイトの「ECOGEAR JUKUSEI AQUA」と称するウェブページ (別添写し39)	<ul style="list-style-type: none"> 「環境配慮型の生分解素材！ Environmentally friendly, biodegradable material！」 	

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
別表5「対象商品」欄記載の各疑似餌	遅くとも令和4年2月1日以降	「ECOGEAR THE CATALOG 2022」と称するカタログ (別添写し40)	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境に配慮した製品です Environmentally Friendly Products」 ・「Q『エコギア アクア』は何でできていますか？」及び「A『エコギア アクア』および『エコギア アクア活シリーズ』は生分解性の水溶性ポリマーで作られていて、環境に対して負荷の少ない素材を吟味しています。」 ・「Q『エコギア アクア』はどのように分解していくのですか？」及び「Aまずはじめに、味成分（主としてアミノ酸）や添加材が水中に溶出します。溶出した成分は安全性・分解性が高く、環境に対して全く害はありません。分解の過程は場所や条件によってスピードは異なるものの、自然環境（土壌や淡水・海水）中の微生物（バクテリア）によってゆっくりと、しかし確実に分解されていき、最終的には安全な水と二酸化炭素になります。（下記 分解過程、淡水・海水中における実験データ参照）」 ・「『ECOGEAR AQUA』分解過程」との記載と共に、物が崩壊していく様子を示すイラスト及び「①湖底に根がかり。▶②成分の溶出 味成分（主としてアミノ酸）や添加剤が水中に溶出します。溶出した成分は安全性・分解性が高く、環境に対して全く害はありません。▶③微生物による分解 自然環境中（土壌や淡水・海水）の微生物（バクテリア）によって徐々に分解されていき、最終的には安全な水と二酸化炭素になります。 ➡CO₂ ➡H₂O」との記載 ・「エコギア アクア バグアンツ3インチ」との記載、赤い物の画像及び「分解実験開始0ヶ月」との記載と共に、「重量変化」、「神奈川県 芦ノ湖」、「埼玉県 羽生吉沼」及び「静岡県 下田」と記載のある折れ線グラフ、「➡『エコギア アクア』分解実験開始から47ヶ月経過した海水中（下田）で完全に分解。61ヶ月経過した平地の沼（羽生吉沼）でも完全分解し、クリアレイク（芦ノ湖）では0.6%まで重量が減少しました。」との記載、崩壊した赤い 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって二酸化炭素と水に分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
			物の画像及び「■神奈川県 芦ノ湖 146ヶ月」との記載、「完全分解」及び「■埼玉県 羽生吉沼 61ヶ月」との記載並びに「完全分解」及び「■静岡県 下田 47ヶ月」との記載 ・「生分解」	

別表 3

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
「パワーイソメ（中）」と称する疑似餌	遅くとも平成28年1月1日以降	商品パッケージ（別添写し1）	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解 生分解性くわせエサ」 ・「本品は水中の微生物によって分解される生分解性樹脂を使用しており、保存液も含め全て魚や人体に無害です。」 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
「パワーイソメ（太）」と称する疑似餌	遅くとも平成28年1月1日以降	商品パッケージ（別添写し2）		使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
「パワーイソメ（極太）」と称する疑似餌	遅くとも平成28年1月1日以降	商品パッケージ（別添写し3）		使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
「パワーイソメ（中）」、「パワーイソメ（太）」及び「パワーイソメ（極太）」と称する各疑似餌	遅くとも令和4年3月5日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの「パワーイソメ徹底分析」と称するウェブページ（別添写し4）	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解性だから地球にやさしい！」及び「ときに、根掛かりや不注意によって、エサを海中に残してしまうこともありますが、生分解性素材で作られている『パワーイソメ』ならご安心を。微生物の働きによって、水中で二酸化炭素と水に分解されます。また、魚が飲み込んでしまっても、スピーディーに排泄されるため、自然に大きなダメージを与えることなく釣りが楽しめます。」 ・「イソメにせまる釣れっぷりの生分解性くわせエサ。」及び「食い、見た目ともにイソメ並みで、扱いやすさはイソメ以上の生分解性くわせエサ。」 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって二酸化炭素と水に分解される生分解性
	遅くとも令和4年4月26日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの製品情報のウェブページ		

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
		(別添写し5)		
「パワーイソメ(中)」、「パワーイソメ(太)」、「パワーイソメ(極太)」、「パワーイソメソフト(中)」、「パワーミニイソメ(中)」、「パワーミニイソメ(太)」及び「パワーミニイソメ(極太)」と称する各疑似餌	遅くとも令和3年3月20日以降	「いろいろ釣れちゃう!! パワーイソメシリーズ 魚種別おすすめサイズ一覧」と称する販促ツール (別添写し6)	・「生分解 生分解性くわせエサ」及び「『パワーイソメ』は全て水中で二酸化炭素と水に分解します。大切な自然にダメージを与えません。」	使用後に水中に残されたままでも、水中で二酸化炭素と水に分解される生分解性
「パワーイソメ(中)」、「パワーイソメソフト(中)」、「パワーミニイソメ(中)」及び「パワーク	遅くとも令和3年3月20日以降	「釣果実証 見た目も食いも本格志向」と称する販促ツール (別添写し7)	・「生分解 生分解性くわせエサ」及び「『パワーイソメ』は全て水中で二酸化炭素と水に分解します。大切な自然にダメージを与えません。」	使用後に水中に残されたままでも、水中で二酸化炭素と水に分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
ラブ（L）」と称する各疑似餌				
「パワーイソメ（中）」、「パワーイソメ（太）」、「パワーイソメ（極太）」、「パワーイソメソフト（中）」、「パワーミニイソメ（中）」、「パワーミニイソメ（太）」、「パワーミニイソメ（極太）」、「ワークラブ（M）」及び「ワークラブ（L）」と称する各疑似餌	少なくとも令和3年5月10日から同月31日までの間	「パワーイソメカンタン仕掛けで手軽に釣ろう！！ EASY FISHING」と称する小冊子 (別添写し41)	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解性だから地球にやさしい」、「根掛かりなどでエサを海中に残してしまってもご安心を。『パワーイソメ』シリーズは微生物の働きによって、水中で二酸化炭素と水に分解。魚が飲み込んでしまっても、スピーディーに排泄。自然に大きなダメージを与えません。」、「生分解 生分解性くわせエサ」及び「※分解には時間が掛かります。使用済の『パワーイソメ』シリーズは持ち帰って処分してください。」 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって二酸化炭素と水に分解される生分解性
「パワーイソメ（中）」、「パワーイ	令和4年1月10日、同年3月10日及	「投げ釣り」と称する会報における広告	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解性素材だから水中分解して、自然への負担を軽減。」 	使用後に水中に残されたままでも、水中で分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
ソメ(太)」、「パワーイソメ(極太)」、「パワーイソメソフト(中)」、「パワーミニイソメ(中)」、「パワーミニイソメ(太)」及び「パワーミニイソメ(極太)」と称する各疑似餌	び同年5月11日	(別添写し42)		
「パワーイソメ(中)」、「パワーイソメ(太)」、「パワーイソメ(極太)」、「パワーイソメソフト(中)」、「パワーミニイソメ(中)」、「パワーミ	少なくとも令和2年1月20日から同年12月31日までの間	「2020マルキュー製品総合カタログ」と称するカタログ (別添写し43)	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解性くわせエサの調査報告」、「マルキュー株式会社 生産開発部 研究開発課 [REDACTED]」、「釣りエサといえば生きエサや練りエサと、ルアーをはじめとした“疑似餌”を想像される方が多いかと思います。その中で私たちが開発してきたのは、それらにはない新しいジャンル“生分解性くわせエサ”という製品です。該当する製品は『パワーイソメ』『パワークラブ』ならびに『紅雪Ⅱ』シリーズで45品のラインアップが完成し、多くの皆様にご使用いただいております。そして、これらの製品には、前述のエサにはない多くのメリットがあります。自然界に生息している多くの魚たちは、その中にあるエサを捕食して生命を維持していますから、生きエサの食いの良さにおいては、それ以外のエサを圧倒するものがあります。しかし、釣りをしたいときにすぐ入手できるかどうか、また長く保管しておけないといった課題 	使用後に水中に残されたままでも、水中で二酸化炭素と水に分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
ニイソメ（太）、「パワーミニイソメ（極太）」、「パワークラブ（M）」及び「パワークラブ（L）」と称する各疑似餌			<p>が常に付きまといます。一方疑似餌については、魚が学習するにつれて次第に見切られてしまい食わせることが難しくなる傾向があります。もっともここが釣りのおもしろさの一つでもあります。“生分解性くわせエサ”は、これら双方のメリットを凝縮した製品といえるでしょう。まず生きエサでは難しい、保管や携帯などの利便性の高さです。言い換えれば、すぐに釣りができる製品であり、ここぞというチャンスを生かすことにつながります。次に思い通りの色や形に加工できることです。多くの魚は色を見分けることができ、接近することにより、はっきりとフォルムを視認しています。繰り返し釣っていると、次第にハリについたエサは危険なものであると認識します。そんなとき、色を識別できる習性を逆手にとってカラーローテーションをおこなうことにより、再び魚の興味を引くことができます。さらに硬さや形状（サイズ）も選べるので、食い込みがよくないときはソフトタイプのもので、アタリが少ないときはサイズを大きくしてアピールするなど、釣り人の選択肢を広げることができます。ところで近代社会では利便性を追求してきた結果、環境に大きな負荷がかかってしまっているという新たな課題が浮上しています。環境負荷は生活していく上でどうしても避けることのできない部分もあります。ですが、魚釣りは水辺のレジャーの一つです。可能な限り環境への負荷を低減させていく必要があると考えます。“生分解性くわせエサ”はそうした課題に対しても真摯に取り組んでいる製品です。その取り組みの一つは、人体や魚に対して極力危険性を抑えること。もう一つは自然界で分解されていくことです。そしてメーカーの役割として、これらの根拠を示していく必要があります。最初にまず、人体や魚に対する影響について。食品のように消化吸収されることはありませんが、これらの製品に用いている素材は、人体に影響の出にくい手術用の糸と同じ材質を使用しています。魚についてはマルキューの研究室に設置している水槽での観察実験においてニジマス、ハゼ、メジナに食べさせたところ</p>	

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
			<p>ろ、最長で48時間以内に排泄されていることを確認しています。次に自然界では残されたものがどうなるのか。私たちは、実際にフィールドでその経過を観察し記録しています。淡水域では、埼玉県に加須吉沼と羽生吉沼（へら鮎の管理池）と神奈川県のアサギ湖。そして海水域は静岡県伊豆半島にある下田海中水族館です。観察の目的は、土壌中とは異なり酸素が少なく温度も低い水中における分解過程を調査することです。サンプルを紛失しないように大雨や波浪の影響にも十分に耐えられ、なおかつ水を通す頑丈な容器に封じ込めて測定場所に沈め、測定は年に2回もしくは4回実施します。アサギ湖は観察場所の中では特に水質が良く、水温が低いので他の場所よりも分解が遅い傾向にあります。一方、水温が高い海水では分解スピードが速いことも確認しています。水質や水温での分解スピードに差はありますが、いずれも数ヶ月から数年の歳月を経て、二酸化炭素と水に分解されていくことが確認できました。東京海洋大学の専門の先生にも監修していただき、学術的な裏付けも得ております。なお、この調査は今後新製品を投入していく上でまだまだ継続していくつもりです。しかしながら現実として、釣り具は耐久性が求められているがゆえに、ひとたび環境中に取り残されてしまうと長期間残ってしまいます。一メーカーでそれらの釣り具を全て取り除くことは難しいのですが、釣りの団体である一般社団法人日本釣用品工業会ならびに公益財団法人日本釣振興会においては、LOVE BLUE（釣り環境ビジョン）として釣り場の環境保全と資源の回復に向けた取り組みをおこなっております。さて“生分解性くわせエサ”という新たなジャンルの製品は、釣果と利便性を追求しつつ自然界で分解されることにより一層安心してご愛用いただけると確信しておりますが、それ以上に大切なことは釣り人の一人一人が環境に対する意識を高めていくことです。多くの釣り人はゴミを片付けていますが、残念なことにまだ一部では心ない釣り人によって投棄されたゴミが散乱しているのを見かけます。これから</p>	

[illegible]

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
		徹底分析」と称するウェブページ (別添写し4)	め、自然に大きなダメージを与えることなく釣りが楽しめます。」	
	遅くとも令和4年3月5日以降	「つれるエサづくりー筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの製品情報のウェブページ (別添写し9)	・「生分解性くわせエサ」	
「パワーミニイソメ(中)」と称する疑似餌	令和元年7月11日以降	商品パッケージ (別添写し10)	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解 生分解性くわせエサ(疑似餌)」 ・「本品は水中の微生物によって分解される生分解性樹脂を使用しており、保存液も含め全て魚や人体に無害です。」 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
「パワーミニイソメ(太)」と称する疑似餌	令和元年7月11日以降	商品パッケージ (別添写し11)		使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
「パワーミニイソメ(極太)」と称する疑似餌	令和元年7月11日以降	商品パッケージ (別添写し12)		使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
「パワーミニイソメ(中)」、「パワーミニイソメ(太)」	遅くとも令和4年3月5日以降	「つれるエサづくりー筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの「パワーイソメ	・「生分解性だから地球にやさしい!」及び「ときに、根掛かりや不注意によって、エサを海中に残してしまうこともあります。生分解性素材で作られている『パワーイソメ』ならご安心を。微生物の働きによって、水中で二酸化炭素と水に分解されます。また、魚が飲み込んでしまっても、スピーディーに排泄されるた	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって二酸化炭素と水に分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
及び「パワーミニソメ（極太）」と称する各疑似餌		徹底分析」と称するウェブページ（別添写し４）	め、自然に大きなダメージを与えることなく釣りが楽しめます。」	
	遅くとも令和４年３月５日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの製品情報のウェブページ（別添写し１３）	・「生分解性くわせエサ」	
「パワークラブ（M）」及び「パワークラブ（L）」と称する各疑似餌	平成２８年３月１０日以降	商品パッケージ（別添写し１４）	・「生分解 生分解性くわせエサ（疑似餌）」 ・「本品は水中の微生物によって分解される生分解性樹脂を使用しており、保存液も含め全て魚や人体に無害です。」	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
	遅くとも令和４年３月５日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの「パワーイソメ徹底分析」と称するウェブページ（別添写し４）	・「生分解性だから地球にやさしい！」及び「ときに、根掛かりや不注意によって、エサを海中に残してしまうこともあります。生分解性素材で作られている『パワーイソメ』ならご安心を。微生物の働きによって、水中で二酸化炭素と水に分解されます。また、魚が飲み込んでしまっても、スピーディーに排泄されるため、自然に大きなダメージを与えることなく釣りが楽しめます。」	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって二酸化炭素と水に分解される生分解性
	遅くとも令和４年３月５日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの製品情報のウェブページ（別添写し１５）	・「生分解性くわせエサ」	

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
「ハイパー紅雪」と称する疑似餌	令和2年10月1日以降	商品パッケージ (別添写し16)	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解 生分解性くわせエサ（疑似餌）」 ・「本品は水中の微生物によって分解される生分解性素材を使用しております。」 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
	遅くとも令和4年4月26日以降	「つれるエサづくり一筋マルキュー」と称する自社ウェブサイトの製品情報のウェブページ (別添写し17)	<ul style="list-style-type: none"> ・「生分解性素材を原材料として、人工エサならではの使い勝手の良さと、ワカサギの好む成分などを徹底追求。」 ・「本品は水中の微生物によって分解される生分解性素材を使用しております。」 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって分解される生分解性
「エコギア熟成アクアバグアンツ3.3インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し18)	<ul style="list-style-type: none"> ・「Biodegradable Material」 ・「環境に配慮した製品です Environmentally Friendly Products」 ・「環境配慮型の生分解素材！ Environmentally friendly, biodegradable material！」 	使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア熟成アクアバグアンツ2インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し19)	<ul style="list-style-type: none"> ・「『エコギア熟成アクア』はより生エサに近づいた、環境にやさしい生分解性ソフトプラスチックルアー。」 ・「生分解」 	使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア熟成アクアミルフル3.3インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し20)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
「エコギア 熟成アクア スイムシュリンプ4インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し21)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクア リングマックス3.8インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し22)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクア リングマックス3インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し23)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクア 活アジコムシ1.7インチ (大盛)」と称する疑似餌	令和2年11月11日以降	商品パッケージ (別添写し24)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
エコギア熟成アクア活アジコムシ1.7インチ」と称する疑似餌	平成29年9月14日から令和2年11月16日までの間	商品パッケージ (別添写し44)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア熟成アクア活アジストレート3.2インチ(大盛)」と称する疑似餌	令和3年10月5日以降	商品パッケージ (別添写し25)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア熟成アクア活アジストレート3.2インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し26)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア熟成アクア活アジストレート2.3インチ(大盛)」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し27)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
「エコギア 熟成アクア 活アジスト レート2. 3インチ」と称する疑似餌	平成29年9月14日から令和2年11月16日までの間	商品パッケージ (別添写し45)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクア 活メバルミノー1. 6インチ (大盛)」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し28)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクア 活メバルSTクラブ2インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し29)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクア 活メバルSTクラブ2インチ (大盛)」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ (別添写し30)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクア	令和3年11月19日以降	商品パッケージ (別添写し31)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
活メバルシラス2インチ(大盛)」と称する疑似餌				生分解性
「エコギア 熟成アクアロッククロー2.5インチ」と称する疑似餌	遅くとも令和3年1月1日以降	商品パッケージ(別添写し32)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクアスーパーどじょうS」と称する疑似餌	遅くとも令和3年4月1日以降	商品パッケージ(別添写し33)	<ul style="list-style-type: none"> ・「Biodegradable Material」 ・「環境に配慮した製品です Environmentally Friendly Products」 ・「生分解」 	使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「エコギア 熟成アクアスーパーどじょうM」と称する疑似餌	遅くとも令和3年4月1日以降	商品パッケージ(別添写し34)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
「熟成タイラバアクアクワセカーリースリム(増量)」と	遅くとも令和4年5月1日以降	商品パッケージ(別添写し35)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
称する疑似餌				
「熟成タイラバアクアクワセフリップスリム(増量)」と称する疑似餌	遅くとも令和4年5月1日以降	商品パッケージ(別添写し36)		使用後に使用環境中に残されたままでも、生分解される生分解性
別表4「対象商品」欄記載の各疑似餌	遅くとも令和4年2月16日以降	「Design for Fisherman」と称する自社ウェブサイトの「ECOGEAR AQUA」と称するウェブページ(別添写し37)	<ul style="list-style-type: none"> ・「Q『ECGEAR AQUA』は何で出来ていますか?」及び「A『ECOGEAR AQUA』および『ECOGEAR AQUA KATSU SERIES』は生分解性の水溶性ポリマー(water-soluble polymers)で作られていて、環境に対して負荷の少ない素材を吟味しています。」 ・「Q『ECOGEAR AQUA』はどの様に分解しますか?」及び「Aまずはじめに、味成分(主にamino acid)や添加材が水中に溶出します。溶出した成分は安全性・分解性が高く、環境に対して全く害はありません。分解の過程は場所や条件によってスピードは異なるものの、自然環境(土壌や淡水・海水)中の微生物(バクテリア)によってゆっくりと、確実に分解されていき、最終的には安全な水と二酸化炭素になります。(下記 分解過程、淡水・海水中における実験データ参照)」 ・「『ECOGEAR AQUA』分解過程」との記載と共に、物が崩壊していく様子を示す画像、「水中に残る▶成分の溶出▶微生物による分解 →CO₂ →H₂O」、「1. 水中に残る」、「2. 成分の溶出。味成分(主にamino acid)や添加材が水中に溶出します。溶出した成分は安全性・分解性が高く、環境に対して全く害はありません。」及び「3. 微生物による分解。自然環境中(土壌や淡水・海水)の微生物(バクテリア)に 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって二酸化炭素と水に分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
			<p>よって徐々に分解されていき、最終的には安全な水と二酸化炭素になります。」との記載</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤い物の画像及び「分解実験開始0ヶ月」との記載と共に、「重量変化」、「神奈川県 芦ノ湖」、「埼玉県 羽生吉沼」及び「静岡県 下田」と記載のある折れ線グラフ、「➡『エコギア アクア』分解実験開始から47ヶ月経過した海水中（下田）で完全に分解。61ヶ月経過した平地の沼（羽生吉沼）でも完全分解し、クリアレイク（芦ノ湖）では17.5%まで重量が減少しました。」との記載、崩壊した赤い物の画像及び「神奈川県 芦ノ湖 108ヶ月」との記載、「完全分解」及び「埼玉県 羽生吉沼 61ヶ月」との記載並びに「完全分解」及び「静岡県 下田 47ヶ月」との記載 	
	遅くとも令和4年4月26日以降	「Design for Fisherman」と称する自社ウェブサイトのトップページ (別添写し38)	<ul style="list-style-type: none"> 「環境配慮型の生分解素材！」 	
	遅くとも令和4年4月26日以降	「Design for Fisherman」と称する自社ウェブサイトの「EC GEAR JUKUSEI AQUA」と称するウェブページ (別添写し39)	<ul style="list-style-type: none"> 「環境配慮型の生分解素材！ Environmentally friendly, biodegradable material！」 	

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
別表5「対象商品」欄記載の各疑似餌	遅くとも令和4年2月1日以降	「ECOGEAR THE CATALOG 2022」と称するカタログ (別添写し40)	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境に配慮した製品です Environmentally Friendly Products」 ・「Q『エコギア アクア』は何でできていますか？」及び「A『エコギア アクア』および『エコギア アクア活シリーズ』は生分解性の水溶性ポリマーで作られていて、環境に対して負荷の少ない素材を吟味しています。」 ・「Q『エコギア アクア』はどのように分解していくのですか？」及び「Aまずはじめに、味成分（主としてアミノ酸）や添加材が水中に溶出します。溶出した成分は安全性・分解性が高く、環境に対して全く害はありません。分解の過程は場所や条件によってスピードは異なるものの、自然環境（土壌や淡水・海水）中の微生物（バクテリア）によってゆっくりと、しかし確実に分解されていき、最終的には安全な水と二酸化炭素になります。（下記 分解過程、淡水・海水中における実験データ参照）」 ・「『ECOGEARAQUA』分解過程」との記載と共に、物が崩壊していく様子を示すイラスト及び「①湖底に根がかり。▶②成分の溶出 味成分（主としてアミノ酸）や添加剤が水中に溶出します。溶出した成分は安全性・分解性が高く、環境に対して全く害はありません。▶③微生物による分解 自然環境中（土壌や淡水・海水）の微生物（バクテリア）によって徐々に分解されていき、最終的には安全な水と二酸化炭素になります。 ➡CO₂ ➡H₂O」との記載 ・「エコギア アクア バグアンツ3インチ」との記載、赤い物の画像及び「分解実験開始0ヶ月」との記載と共に、「重量変化」、「神奈川県 芦ノ湖」、「埼玉県 羽生吉沼」及び「静岡県 下田」と記載のある折れ線グラフ、「➡『エコギア アクア』分解実験開始から47ヶ月経過した海水中（下田）で完全に分解。61ヶ月経過した平地の沼（羽生吉沼）でも完全分解し、クリアレイク（芦ノ湖）では0.6%まで重量が減少しました。」との記載、崩壊した赤い 	使用後に水中に残されたままでも、水中の微生物によって二酸化炭素と水に分解される生分解性

対象商品	表示期間	表示媒体・表示箇所	表示内容	生分解性
			物の画像及び「■神奈川県 芦ノ湖 146ヶ月」との記載、「完全分解」及び「■埼玉県 羽生吉沼 61ヶ月」との記載並びに「完全分解」及び「■静岡県 下田 47ヶ月」との記載 ・「生分解」	

別表 4

対象商品	
「エコギア熟成アクア	バグアンツ 3. 3 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	バグアンツ 2 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	ミルフル 3. 3 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	スイムシュリンプ 4 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	リングマックス 3. 8 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	リングマックス 3 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活アジコムシ 1. 7 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活アジストレート 3. 2 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活アジストレート 3. 2 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活アジストレート 2. 3 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活アジストレート 2. 3 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活メバルミノー 1. 6 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活メバル S T グラブ 2 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活メバル S T グラブ 2 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活メバルシラス 2 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	ロッククロー 2. 5 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	スーパーどじょう S」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	スーパーどじょう M」と称する疑似餌
「熟成タイラバアクア	クワセカーリースリム（増量）」と称する疑似餌
「熟成タイラバアクア	クワセフラップスリム（増量）」と称する疑似餌

別表 5

対象商品	
「エコギア熟成アクア	バグアンツ 3. 3 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	バグアンツ 2 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	ミルフル 3. 3 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	スイムシュリンプ 4 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	リングマックス 3. 8 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	リングマックス 3 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活アジコムシ 1. 7 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活アジストレート 3. 2 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活アジストレート 3. 2 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活アジストレート 2. 3 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活メバルミノー 1. 6 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活メバル S T グラブ 2 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活メバル S T グラブ 2 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	活メバルシラス 2 インチ（大盛）」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	ロッククロー 2. 5 インチ」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	スーパーどじょう S」と称する疑似餌
「エコギア熟成アクア	スーパーどじょう M」と称する疑似餌
「熟成タイラバアクア	クワセカーリースリム（増量）」と称する疑似餌
「熟成タイラバアクア	クワセフラップスリム（増量）」と称する疑似餌